

東青

みどりの通信

No. 111

令和2年

4月23日

〒030-0861

東青地域県民局地域農林水産部

農業普及振興室

青森市長島二丁目10番3号青森フコク生命ビル6F

TEL 017-734-9990

FAX 017-734-8305

E-mail hi-nosui@pref.aomori.lg.jp

令和2年度のスタートにあたって

農業普及振興室長 長谷川 重幸

農業普及振興室では、毎年度「普及指導計画」を定め、「攻めの農林水産業」推進東青地方本部行動計画と連動して、地域農業の振興と地域の活性化に取り組んでおります。

昨年度は、皆様方の御協力により、

- 1 「青天の霹靂」の玄米タンパク質含有率の生産目標（6.0%以下）達成率が前年の51.2%から85.1%へと食味の底上げ
- 2 ミニトマトの単収5トン以上となった生産者が前年の9名から12名に増加
- 3 ぶどう「シャインマスカット」の栽培面積が前年の1.4haから1.5haに拡大
- 4 担い手育成を支援する農業次世代人材投資資金の対象者が前年より14名増加
- 5 外ヶ浜町の6集落営農法人からなる「株式会社アグライズ外ヶ浜」設立などの成果を上げることができました。



青天の霹靂の現地研修会



ミニトマト情報交換会

本年度も、①「青天の霹靂」の安定生産と食味のレベルアップ、②トマト指定産地の生産力向上、③商品力が高い大粒品種ぶどうの普及拡大、④農山漁村女性の意欲・能力を活かした起業活動の推進、⑤地域経営を担う集落営農組織等の法人化と経営改善支援の重点5課題のほか、各作物の生産指導や担い手育成など17課題に取り組み、農家所得の向上と人口減少に対応した共助・共存の取組など地域活性化に努めてまいりますので、引き続き皆様方の御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスに関する農林水産省の情報はこちら



東青地域たまねぎの里づくり支援事業（新規）の紹介

東青地域の農業は水稲が主体ですが、近年の水稲の収益性の低下により、中小規模の単一経営では生計の維持が困難となっています。

そこで、基盤整備事業による水田の畑作化等を契機とし、水稲との作業時期の重複が少なく、比較的高収益で、機械化による省力化が可能な「たまねぎ」の生産を始めましたが、単収が低く、販売先も限られているのが現状です。

この事業では、「たまねぎ」の産地化による農業所得の拡大を目指し、秋定植作型の単収向上と品質・規格に応じた販売先の確保、実需者・地域住民等に対する認知度の向上をはかるため、以下の内容に取り組みます。

【事業内容】

- 1 産地化に向けた戦略・体制づくり
生産組合、ＪＡ、市町村、県産技センター、県民局等でプロジェクトチームを組織
- 2 地域に適合した栽培技術の確立
秋定植栽培技術実証ほの設置（委託先：ＪＡ青森）、現地検討会等の開催、春・秋定植作型の栽培暦の作成、先進地視察研修の実施
- 3 地産地消を意識した販売ルートの構築
実需者・流通業者からのニーズ把握、地域イベント等でのＰＲ活動、地域住民等を対象とした収穫体験・試食会の実施



蓬田村での玉ねぎ収穫

東青農業・農村の次世代担い手確保支援事業（継続）の紹介

- 1 支援会議の開催
農業者代表、農協、市町村の企画及び農林担当からなる次世代農業・農村支援会議を開催し、作成したＰＲ動画を活用しながら、出会いサポートセンターと連携し、地域外からの移住・就農を支援することで意識統一し、移住・就農から出会いの場に結びつけていきます。
- 2 東青地域の魅力発信動画の制作
東青地域への移住や就農を促すため、昨年度は、青森市の農業者に嫁いだ女性を中心に魅力を発信する動画３本をＳＮＳ等にアップしました。本年度は独身男性農業者中心に、新たな動画を３本作成し、県内外での東青地域の農業の認知度向上につなげていきます。
- 3 農へのふれあいの場づくり
女性を対象に先進農家の農場見学会や農作業体験会を開催し、農業・農村に対する理解を

深めるとともに、合わせて交流の場を開催します。

今年度は、収穫体験と交流を一体化した形で、作物の収穫時期に合わせた形で実施する予定です。



青森市りんごセンター視察



花き栽培視察

新 農業経営士・VIC・ウーマン・青年農業士の紹介

農 業 経 営 士

きだち すすむ
木立 丞さん(平内町)



115頭の乳牛を飼養し、年間約700トンの生乳を生産しています。

農場から排出される糞尿を堆肥化し、飼料畑の基肥として有効活用を図るなど、資源循環型酪農という地域の環境保全を意識した経営を実践しています。

また、担い手の育成に向け、研修生等の受け入れを行ってきたほか、農福連携にも積極的に取り組んでいます。

V i C ・ ウ ー マ ン

あけた としこ
明田 敏子さん(今別町)



地域では、婦人会等に参加し、今別町の伝統芸能「荒馬祭り」に参加する大学生の支援に携わるなど、裏方として祭りの盛り上げに尽力しています。

また、農業経営の中では、主に野菜を担当し、水稻育苗後のハウスできゅうりを中心に様々な野菜を作付けしています。これらは道の駅の直売コーナー等で販売するなど、産直活動に意欲的に取り組んでいます。

青 年 農 業 士

はやし ひさし
林 久志さん(青森市浪岡)



水稻を主体としたりんごとの複合経営で、特に水稻栽培面積は約51haと、地域最大規模となっています。

りんごは、水稻作業に重複しない品種構成とし、インターネット販売も行っています。また、地域の伝統行事への参加や小学校のPTA活動にも尽力しています。

かさい せいや
葛西 誠也さん(青森市浪岡)



水稻栽培面積は約19haで、水稻の規模拡大に対応し、密苗移植や直播栽培とすることで省力・低コスト化に取り組んでいます。

また、地域の保全会の一員として、農地の見回りや草刈りなど地域の農地保全に尽力しています。

STOP! 農作業事故

農作業安全のポイント!

- ◆慣れた作業でも油断せず、注意して行いましょう。
- ◆必ず、作業の合間に十分な休憩を取りましょう。自分を過信せず、無理のない作業を行いましょう。
- ◆一人での作業は避け、やむを得ず一人で行う場合は、家族に作業場所を伝え、携帯電話を持ちましょう。
- ◆家族や周りの人など、地域全体で注意を呼びかけましょう。
- ◆万一の事故に備えて、労災保険や農機具共済等の保険に加入しましょう。

安全確認
もう一度!



「山菜採り

行き先告げて

無理せずに」



「守りたい 森と未来を 炎から」

6月10日までは

「山火事防止運動強調期間」です



農業普及振興室 職員紹介

農業普及振興室長



長谷川 重幸
【室の総括】

企画班



副室長 山内 俊範
【班の総括】

経営・担い手班



副室長 長内 忠仁
【班の総括】

生産班



副室長 久保田 稔
【班の総括】



若宮 通子
食品表示、農福連携、鳥獣対策



白石 一志
放射能モニタリング、水循環



神 紀子
女性の経営参画、組織活動



山内 一肇
経営改善
法人化



對馬 美子
経営所得安定対策、環境にやさしい農業



横山 順一
花き
農林水産業災害



三崎 さおり
農地中間管理事業、産地パワーアップ事業



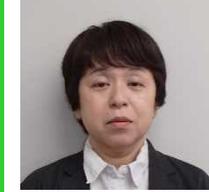
長村 芳枝
健康な土づくり
食育



白取 愛
女性起業支援、6次産業化・農商工連携



小田桐 理佳
認定農業者
強い農業・担い手づくり支援



渋谷 恵美子
野菜、冬の農業



山田 実
稲作、畑作
水稻新品種



立崎 泰正
重要家畜伝染病、酪農振興



伊藤 雄亮
肉用牛振興
養蜂振興



讃岐 温子
新規就農者
4Hクラブ



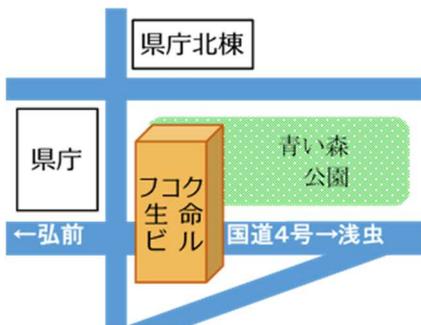
小笠原 宜弘
果樹、りんご
経営安定対策



藤田 正男
野菜、野菜指定産地、あおもり海道そば



原田 美樹
果樹
農業気象



当農業普及振興室は、県庁の筋向いの「青森フコク生命ビル」の6階にあります。駐車場は、県庁北棟地下をご利用ください。